



センター教室受講生・OBによる「ものづくり教室作品発表会」(3/3~4/8)の期間中には、「ひなさんぽ」等大殿界限で様々なイベントも催されます。



ものづくり教室作品発表会 (まなび館)



昭和のお雛様展示 (まなび館2階)

### 富田潤二先生、公募展に入選されました

経済産業大臣指定伝統的工芸品等、全国の工芸品を対象に、新しいアイデアや表現を取り入れた市場性のある伝統的工芸品を募集する全国伝統的工芸品公募展((一財)伝統的工芸品産業振興協会主催)が毎年実施されています。平成 29 年度の開催では、富田潤二先生の蒔地大盆(大内塗)が入選されました。

漆器の下地工程では、通常との粉と生漆を混ぜたものを塗りますが、「蒔地(まきじ)」とは地の粉を蒔いて、漆を塗り重ねる作業を繰り返すもので、難しく手間がかかる、あまり使われない技法です。

この作品は直径1尺4寸(約43cm)、木地はトチノキを使っています。研究を重ね失敗も繰り返して1年がかりで制作、3、4回重ね塗りされています。

表面の凹凸によるざらざら感にアメーバ状模様を表現、傷がつきにくい丈夫さから実用性も備えています。今後さらに大きなものも作りたいと抱負を語られました。



### まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

#### 山口にまつわる奇縁

山口の街に華開いた八代二百年に亘る大内氏の栄華は、1551年重臣陶晴賢の謀反によりピリオドがうたれます。その陶晴賢も1551年厳島の戦いで安芸の毛利元就に討たれ、元就の孫毛利輝元は1600年関ヶ原の戦いに敗れ、防長二州に減封されてしまいます。

現在、水の上町に建つ洞春寺は毛利元就の菩提寺です。なぜ、元就の菩提寺が山口にあるのでしょうか。毛利家中興の祖である元就の菩提寺は毛利家とともに移転しています。元就の死後、本拠地郡山城があった広島県の吉田町(現安芸高田市)に洞春寺が建立され、その後、本城の移転とともに広島(山口)、萩へ移り、幕末期の文久三年毛利敬親の山口移鎮に伴い、山口城の近く、往古26代大内盛見の菩提寺であった国清寺(当時常栄寺)の地に移り、明治四年の廃藩置県を迎え現在に至っています。

現在の香山園を見てみると、東から順に、大内盛見が建立した五重塔、陶氏の菩提寺である瑠璃光寺、毛利家墓地そして洞春寺。450年の時を超えての奇縁というべきでしょうか。

指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~

## エアリアマップ 山口市街図

昭和47年(1972)(昭文社発行)

山口市歴史民俗資料館蔵

### ⑦市民会館

維新百年記念事業の一つとして、旧山口大学本部跡に昭和46年開設、同年制定した市民憲章の碑が中庭に設置されました。

### ⑧中央

市街地等を対象とした住居表示が、白石地区では昭和43年に実施されました。早間田・新道・清水・田町等の一部は「中央」に改められ、土地の歴史を刻んできた町名が姿を消しました。住居表示は市役所を起点としており、町名は現中央郵便局の地に当時市役所があったことによるものと思われる。

### ⑨駅通り

旧町名は今道・今市・米殿小路等。住居表示実施と同時期に拡幅工事も行われました。

### ⑩新鰐石橋

昭和38年国道262号線の防府-山口間が完成(一部は今の県道21号)、同47年秋までの全線が開通しました。この橋も38年頃架橋されたものと思われる。現在の橋は平成7年造られたもので、翌年吊り橋陸橋(宮島町横断歩道橋)も設置されました。

### ⑪山口中央高

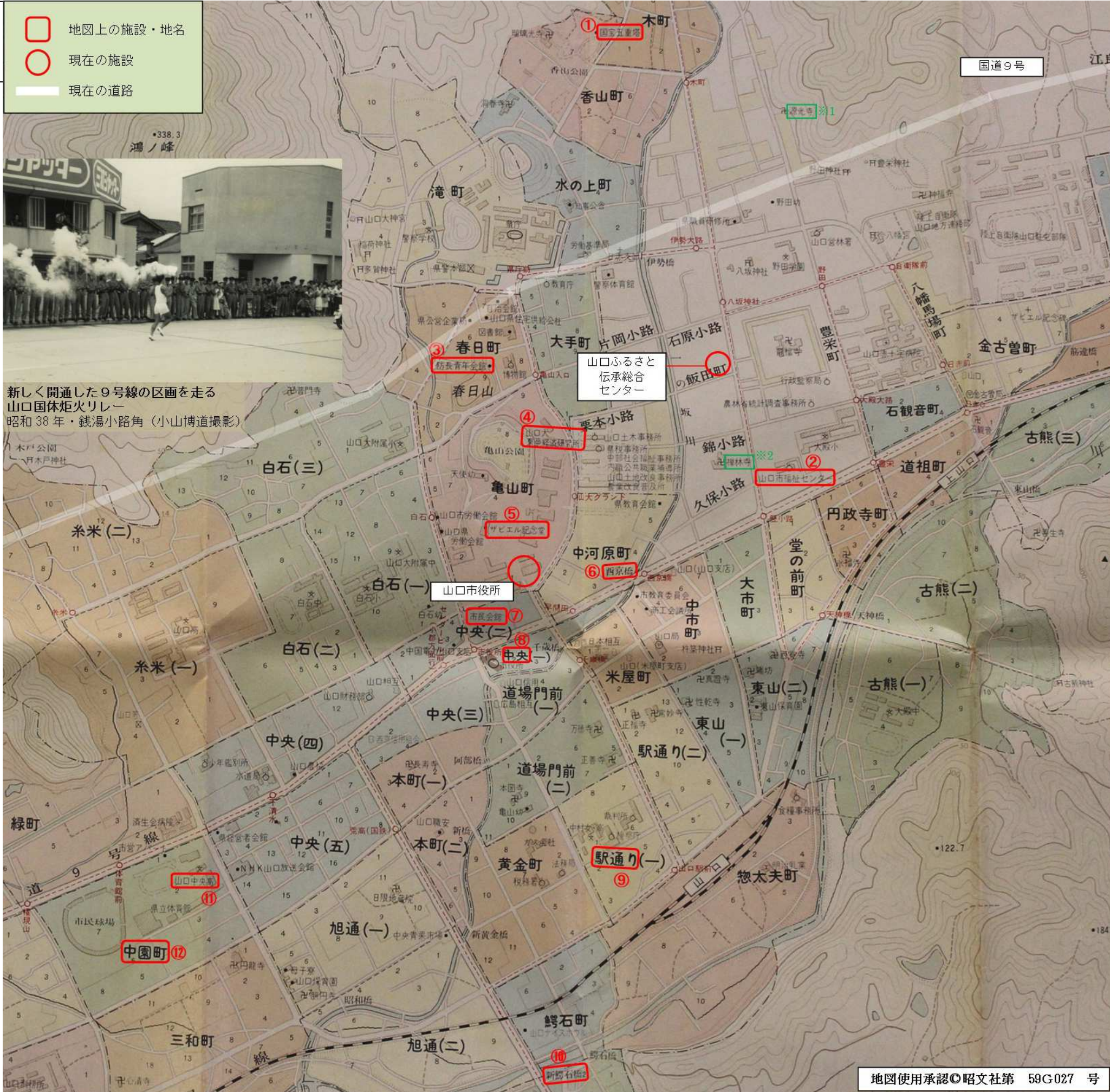
旧制山口高等女学校が学制改革により昭和23年山口女子高等学校として発足。翌年山口西高等学校に改称、翌年山口東高校と統合して山口高等学校に。山口大学文学部との敷地校舎交換に伴い、同30年山口中央高等学校として分離独立、清水に新築移転しました。男女共学制を維持しつつ女子生徒のみでしたが、平成7年宮島町の現在地に新築移転、同11年初めて男子生徒が入学し共学化へ。

### ⑫中園町

旧町名は中讃井・清水等。町名は当時あった中央公園に由来します。市民球場が昭和30年に、県体育館が同35年に完成。同40年山口青年会議所創立10周年記念として造られたカラー噴水が見えしました。両施設は平成10~11年頃解体、同15年山口情報芸術センターが開館しました。中込田遺跡では中世の道の跡が見つかっています。

地図上下記の表記は誤りと思われる。

- ※1 源光寺(誤)→雲谷庵(正)
- ※2 禅林寺(誤)→法界寺(正)



### ①瑠璃光寺五重塔前の公園

五重塔前はかつては田園でしたが、昭和38年山口国体にあわせて公園化され、造られた池にコイが放流されました。同年夜間照明が、同40年満月の庭が完成しました

### ②山口市福祉センター

維新百年記念事業として、旧県工業試験場跡に昭和43年老人福祉館・児童館が開館、前庭にはひよっこり山が設けられました。

### ③防長青年会館

皇太子御降誕記念事業として、防長先賢堂・博物館等が並ぶ春日山に昭和12年竣工。青年団の活動拠点、修養道場として講習会・宿泊等に利用されました。戦後一時山口進駐米国軍政本部が設置されました。同58年神田町の現在地へ再建、平成18年より県民活動支援センターが置かれています。

### ④山口大東亜経済研究所

山口高等商業学校(山口大学経済学部の前身)の附属施設として昭和8年設立、膨大な文献資料を収集してきました。山口大学は、長府にあった農学部が山口市移転(昭和41年)に続き、亀山周辺の本部(はじめ各学部が平川地区姫山南麓に移転、同48年経済学部の移転により完了しました。

### ⑤サビエル記念堂

サビエル渡来400年を記念し昭和27年落成。サビエル城を模したロマネスク様式の聖堂は山口のシンボルとして親しまれますが、平成3年焼失。全国から募金が集まり、同10年テントをモチーフにした白亜の聖堂が完成しました。

### ⑥西京橋

国民体育大会の山口開催を控え、昭和37年から国道9号の改修工事が本格化、多くの世帯の移転を伴う早間田から女子短大(現県立大)付近までが途切れていましたが、翌年貫通。中心市街一帯は大きく変貌しました。その過程で中河原橋を拡幅のため取り壊し、新たに架設する橋の名を一般公募。「西京橋」は市内で最も幅の広い橋(25.5m)として38年竣工しました。

### ○アーケード

市内ではじめてのアーケードの工事が安部橋から始まり、昭和38年道場門前に「10万人の散歩道」として完成、同年米屋町まで連なりました。同48年中市商店街にも、天井にシャンデリアが輝くアーケードが完成しました。

# 3月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	1	2	3
				バッチ 和裁 レザー①		作品発表会～4/8 和布あそび作品展 鷺流
4	5	6	7	8	9	10
和布あそび作品展 和菓子作り体験	和裁 型染①	陶芸A トール	陶芸A バッチ③	染色 和裁 レザー②③	陶芸B 手織 大内塗	大内塗 鷺流 着付
11	12	13	14	15	16	17
こども茶の湯	和裁 型染②		染色 バッチ①	和裁 レザー①		鷺流
18	19	20	21	22	23	24
	和裁 型染③ トール			バッチ② 和裁 レザー②④	手織 大内塗	大内塗 鷺流 竹細工
25	26	27	28	29	30	31
そば打ち体験 陶芸絵付け体験 こども茶の湯 竹細工	和裁 型染④		バッチ①	陶芸AB 和裁		鷺流

## イベント案内

### チーム OIEMASE 企画

#### 東日本復興支援 桜めぐり&お茶めぐり

期間：2月21日（水）～ 4月8日（日）

#### 山口ふるさと伝承総合センター会場

ものづくり教室作品発表会 3/3～4/8

教室受講生・OBによる作品を展示します。

お煎茶（柴山流）茶席 4/1

料金：400円（内、50円を復興支援金とします）

※期間中、ミュージアムショップの売上の10%を復興支援金とします。

その他の会場：大路ロビー、  
山口市菜香亭、クリエイティブ・スペース赤れんが



## ものづくり体験のご案内

### 陶芸絵付け体験

素焼きの皿に絵付けをします。

日時：3月25日（日）14時～16時

定員：先着20名（小学生以下は要保護者同伴）

体験料：1皿500円（1人2枚まで）



### そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日時：毎月最終週

3月は25日（日）

13:30～16:00

定員：14名（抽選にて選定）

体験料：1,000円（材料費含む）



随時受付（そば打ち体験受付は3月20日（火）まで）

## 歴史文化基本構想・文化財把握調査

山口市では今年度から31年度にかけて、地域に存在する歴史文化を幅広く把握し、総合的に保存・活用するための「歴史文化基本構想」を策定することになっています。地域それぞれの個性をかたちづくる多様な歴史文化を、後の世代に継承するとともに、まちづくり等に積極的に活用されることが期待されます。

市内各地区で調査やワークショップが行われており、大殿地区でも調査対象となる文化財の選定・掘り起こしを経て調査が進められています。

対象としては「地域のお宝」「地域の歴史や文化を感じるもの」「次の世代に残したいもの」等がイメージされており、50年以上経過しているもので、建物・名所・美術工芸品のほか、祭り・年中行事や生業・食文化、風景、伝承等も含まれます。

これはというものがございましたら、大殿地区については伝承センターまたは大殿地域交流センターにお申し出いただくと、調査に反映させていただけるかと思われます。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

## 新年度教室受講生を募集します

平成30年4月からの新年度開講教室受講生を募集します。詳しくはチラシ（各交流センター等に設置）、ホームページまたは電話でご確認ください。

## 山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12

TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877

E-mail y-densho@c-able.ne.jp

URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間

9:00～17:00

入場料 無料